

「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」から提供された情報

番号	最終接種年齢	接種日	回	発症時期(最終接種からの時間)	サ/ガ※	主訴	備考(医療機関における診断等の記載)	企業または医療機関からの報告
1	10代	2012/8/7	1	4日	ガ	蕁麻疹、咳、眼瞼痙攣、不随意運動、疲労感、過呼吸	脳波異常なし。	
2	10代	2012/5/26	1	28日	ガ	頭痛、歩行困難、眩暈、激やせ	初期は自家中毒とされた。歩行可能まで回復。	○
3	10代	2013/4/13	1	2日	サ	蕁麻疹、微熱、目の充血・かすみ、口の中や周りの痛	血液検査で炎症反応強い。	○
4	10代	2012/3/3, 4/2	2	翌日	サ	頭痛、嘔吐、関節痛、摂食不良、ADL低下	ワクチン接種後多発神経炎	
5	10代	2012/9/29, 12/22	2	59日	ガ	足のだるさ、痛み	複合性局所疼痛症候群	○
6	10代	2011/5/2, 6/14	2	1回目後10日	サ	四肢、背中など全身を移動する痛み	線維筋痛症は否定的。「難治性疼痛」	○
7	10代	2012/8/18, 10/17	2	3日	ガ	頭痛、過呼吸、歩行困難、腰痛	電話?相談で小脳失調あるいはADEMと指摘。	
8	10代	2011/9/16, 10/19	2	不明	サ	激しい頭痛、頻繁に起きる解離、体中の痛み、味覚障害、羞明、膝下のアロディニア、歩行障害など。	入院三回(詳細不明)	○
9	10代	2012/6/20, 2012/8/20	2	96日	ガ	歩行困難、四肢関節痛、日光過敏、筋力低下、頭痛、腹痛	膠原病は否定的/胸郭出口症候群(治療するも無効)/若年性特発性関節炎	
10	10代	2012/8/16, 10/15	2	8日	サ	足首の痛みと腫脹あり、ひざ、肩の順に次々と関節が腫れる。歩行困難。	関節型若年性特発性関節炎(メトトレキサート無効・トシリズマブ投与)	
11	10代	2011年3月、5月	2	1回目後・不明	不明	強い頭痛発作	慢性群発頭痛	
12	10代	2011/8/8, 9/6, 2012/2/7	3	不明	サ	歩行不能、左肩・胸痛、握力低下	大学病院で検査するも不明とされる。	○
13	10代	2011/8/5, 9/2, 2012/4/5	3	85日	サ	頭痛、筋痛、発熱、関節痛	SLE(ステロイドパルス施行)	
14	10代	2011/10/15, 12/17, 2012/5/12	3	2回目後13日	サ	関節痛	リウマチ否定的とされる。	
15	10代	2011/4/7, 5/14, 10/22	3	2回目後13日	サ	倦怠感、吐き気、眩暈、嘔声	膠原病や頭蓋内病変は否定的。	
16	10代	2011/9/14, 10/29, 2012/3/30	3	不明	不明	全身の痛み、痺れ、頭痛	MSやリウマチは否定的とされる。	
17	10代	2011/9/17, 10/27, 2012/3/29	3	不明	サ	偏頭痛・感情の起伏激しくなる	小児科・婦人科の診察を受けている。	
18	10代	2011/9/27, 10/30, 2012/3/28	3	19日	サ	突然の下肢脱力、意識消失、呼吸の乱れ、手足のびくつき	睡眠障害、特発性過眠症	○
19	10代	2010/8/9, 9/7, 2011年2月	3	1年	サ	下肢、ひじの痛み、足関節痛	肘部管症候群/膠原病は否定的。	
20	10代	2011/9/13, 10/14, 2012/3/23	3	翌日	サ	手首、足首の痛み、足首・足底の腫れ	甲状腺機能低下症/若年性特発性関節炎	
21	10代	2011/8/7, 11/5, 2012/3/24	3	不明	サ	関節腫脹、運動時痛、微熱	CRP軽度上昇のほかは検査値に異常なし/関節症性乾癬(シクロスポリン内服)	
22	20代	2011/8/4, 9/5, 2012/5/31	3	3ヶ月	サ	発熱、手の痺れ、足のだるさ	頸椎ヘルニア/複数回のMRIで異常なしとされる。	
23	10代	2011/2/19, 3/18, 8/20	3	289日	不明	発熱、意識レベルの低下	プレドニン内服中。SLEの記述有。	
24	10代	不明	不明	数日	サ	足底感覚異常、眩暈、嘔吐、微熱、脱毛、脱力感、頻脈	精査するも異常なし。	

※サ/ガ…サーバリックス/ガーダシル

番号	最終接種年代	接種日	サ/ガ※	回数	主な記載者	発症時期(最終接種からの時間)	経過概要	企業または医療機関からの報告
1	10代	2012/8/7	ガ	1	親	4日	8/11蕁麻疹、8/17咳喘息のような咳が続く。9/7眼瞼けいれんが始まる。9/15バスケ試合後、咳、眼瞼と足の痙攣が始まる。それから手、全身の不随運動(原文ママ)となっていく。現在、極度の疲労感、頭痛、眼瞼けいれん、どこかに不随運動出る。 医療機関は、8/30に耳鼻科、9/6に内科、9/10に眼科、小児科を受診。9/18救急の脳外科受診。9/24MRI検査。大学病院に紹介。脳波に痙攣と関連のあるものはないといわれた。9/29過呼吸様の咳とけいれん。薬はやめた。10/17国立の病院に入院。異常なく10/25に退院。11/14に違う病院受診。12月にいったん症状軽快するも、2013年にまた症状が出てきた。3/18脳は異常なし。	
2	10代	2012/5/26	ガ	1	親	28日	6/23より頭痛を訴えだした。翌日に近医で自家中毒と診断され点滴。頭痛薬無効。痛み止めを4時間おきに内服。通院している間に歩けなくなった。眩暈に眼振、視野が狭くなる、激やせなどの症状もあった。通院先で入院とメンタルのリハビリを勧められたが、母の希望で入院はさせず、経過観察となった。知り合いから「解毒」を勧められ、4日目に立つことができるようになった。治療をした先生からワクチンによるADEMではないかと言われたので、8月に市立病院で副反応報告の手続きをした。	○
3	10代	2013/4/13	サ	1	親	2日	4/15夜に少し足に発疹あり。16日～18日にじんましんあり、かゆみひどい。4/17体温は37.5℃前後。4/18総合病院の皮膚科を紹介された。処方を受け帰宅したが、かゆみが強く19日に再診。血液検査で炎症反応強い。目の充血、かすみ、顔や足のむくみ、口の中、周りの痛みなどがあつた。4/22炎症反応は改善。肝臓も腎臓も異常なし。4/24より登校している。37℃台半ばの微熱はある。	○
4	10代	2012/3/3, 4/2	サ	2	親(内科医)	翌日	生来健康。初回接種後1週間程度関節痛、倦怠感あるも軽快。2回目接種の翌日から激しい頭痛、嘔吐、関節痛。4/6より摂食困難。4/8A病院受診。4/11同入院。歩行器による歩行。「副作用の時期は過ぎている」として4/16退院。その後は父が自宅で観察しながら通院で対応。摂食不良続き、体重減少10%以上。4/25から徐々に経口摂取量増加。5月上旬になってもADL低下傾向。5/3B病院受診。Bで「ワクチン接種後多発神経炎」の診断。外来リハビリ。大学進学のため東京に母と移住。週末は父が交代して観察。6/12東京都内のC病院神経内科受診。脊髄空洞症指摘される(Th6-8)。D大学病院紹介。6/18同受診。ギラン・バレー、ADEM、髄膜炎、脳脊髄炎、MSをワクチンとの関連にかかわらず鑑別として挙げられた。7/16 D再診。造影MRIを薦められた行わなかった。以降は地元でリハビリを継続。9/2に再び東京へ。杖で移動可能なまでに回復。このころから不眠あり。メンタルクリニックを3軒受診。投薬受けている。2013年になり、休みのたびに地元でリハビリを行う。5月に「ピアノの打鍵がずれるようになる」との訴えあり。	
5	10代	2012/9/29, 12/22	ガ	2	親	59日	2回目の接種とほぼ同時に風邪症状あり、4-5日微熱が続いたため、かかりつけを受診していた。何度も同様の経過を繰り返す。2013/2/19ころから、足のだるさ、つっぱり感あり。2/23未明に「足が痛くて眠れない」と訴え、A救急病院を受診。痛み止め処方されるも無効。日中にかかりつけ受診。次週にB大学病院受診。異常なし。検査入院勧められるが満床につき帰宅。2/26C病院受診。検査入院し3/16退院。筋伝達(ママ)検査等施行し異常なし。精神的な要因を疑われ、精神神経科に通院中。新聞記事で見た子宮頸がんワクチン副作用のことを伝え、主治医から製薬会社に連絡を取り、「複合性局所疼痛症候群」と診断された。	○
6	10代	2011/5/2, 6/14	サ	2	保健所/親	1回目後10日	5/12足首の痛みのため隣接する市のA整形外科受診。処方のみ。6/9痛み再発。6/14接種2回目。夜に足と背中、手に痛み発生。その後非常に高い頻度で体中にも痛みが移動するようになった。ワクチンとの関係を疑い、B総合医療センターERを受診。痛み止め処方。日中同センター再受診。痛み止めその後無効。数秒から30分、ズキズキ～ガンガンとした痛み。6/20線維筋痛症を疑われ、C病院医師を紹介。線維筋痛症は否定的。きっかけはワクチンと言われる。ステロイドをはじめ、さまざまな治療を試みるも無効。9月末～10月はじめに入院2週間。厚労省へは「難治性疼痛」として接種した医師とC病院医師から報告。	○

7	10代	2012/8/18, 10/17	ガ	2 親	3日	10/20頭痛あり。夜に過呼吸。救急要請し、帰宅後も別な病院へ。検査入院したが異常なし。10/22退院。その後CT,MRIで異常なし。11/2整形外科受診するも異常なし。階段の上り下りはゆっくり休み休みで数十分かかる。その後小さな歩幅でゆっくり軽く様になる。なんとかか支えなしで歩ける。相談した遠隔地の医師からは、小脳失調およびADEMだと言われる。4月に厚労省に副反応報告。	
8	10代	2011/9/16, 10/19	サ	2 親	不明	入院は全部で三度だが経過は不明。病院では心理的な要因や精神疾患と指摘された。解離(てんかんのようになり前触れなく体がフリーズして倒れてしまう、との注釈あり)が頻繁に起きるが、医師にはてんかんでないと言われている。	○
9	10代	2012/6/20, 2012/8/20	ガ	2 親	96日	【主訴】歩行困難、四肢関節痛、日光過敏、筋力低下、頭痛、腹痛 【経過】11/23(接種3カ月後)右下腹部が痛みだし、11/27A病院を受診。CT、血液検査で異常なく、12/7にはMRI、婦人科エコー行っても異常なし。12/15には下肢に痛みが出現し、12/18には手が不規則にこわばり激痛を訴えるようになった。12/21歩行困難。CRP高値。12/22に入院。膠原病等疑われるが検査で異常なし。B整形外科で胸郭出口症候群と診断され、装具使用するも無効。1/11痛みが再増悪し、C大学病院で診察を受ける。1/17に痛みが非常に強くなり入院。血液検査で軽度の陽性反応あるも、ほかに異常なし。若年性特発性関節炎と感染後の反応性関節炎が考えられた。プルフェン処方され退院。2/13MRI異常なし。2/4D病院受診。2/27精神科受診。28日に少し歩けるようになった。4/4再び歩けなくなる。4/15Eペインクリニック受診。現在はトリプタノール、ポリフルを処方されている。4/25～酵素風呂試す。	
10	10代	2012/8/16, 10/15	サ	2 親	8日	10/23(接種8日後)突然右足首に痛みを伴う腫脹あり。10/26から右ひざ、左ひざ、右肩、左肩の順に次々と関節が腫れだす。10/31にペンも握れず痛みで歩行も困難になったためA整形外科を受診。レントゲンを撮影するが原因不明。ロキソニンと湿布を処方された。11/7再診。膝が痛み、片脚を引きずっていた。夜、右手に違和感あり、11/8右手首が腫れているのに気づいた。A整形外科で関節リウマチの可能性を指摘された。11/12膝、あご、手首両肩に痛み。関節リウマチの診断。以後鎮痛剤で対症療法を受けるも奏功せず。11/17関節穿刺で黄色の穿刺液を得る。11/24B医療センターリウマチ科を受診。11/28～12/6検査入院。関節型若年性特発性関節炎と診断された。メトレート奏功せず、2012/3/7-9入院。アクテムラ(生物学的製剤)を投与。	
11	10代	2011年3月、5月	不明	2 親	1回目後・不明	1回目接種後から深夜～午前にかけて強い頭痛発作が起きるようになる。2011年度登校初日に強い頭痛で早退。強い頭痛で学校に行けなくなる。5月には体調が回復。接種当日の夜、ひどい頭痛発作が起き、目はチカチカして目を開けることもできなくなる。翌朝、予防接種を受けた病院で、解毒剤の入った点滴を受ける。めまいは回復した。アレルギー検査を受ける(結果は記載なし)。1週間程度通院。3回目の接種はしていない。いろいろな病院で検査・治療してもらい、慢性群発頭痛と診断される。	
12	10代	2011/8/8, 9/6, 2012/2/7	サ	3 親	不明	歩行不能、左肩痛、胸痛、左腕の可動域低下と握力の著明な低下。大学病院で各種検査施行するも異常所見なし。対症療法のみ。	○
13	10代	2011/8/5, 9/2, 2012/4/5	サ	3 親	85日	2012/6/29より発生。症状は頭痛、筋肉痛、発熱。関節痛、血球減少、抗核抗体陽性、抗DNA抗体陽性、紅斑、免疫異常、蛋白異常、血球貪食症候群、抗リン脂質抗体症候群、脱毛。2回目の接種のあと頭痛、肩こり、近痛。3回目の接種後からそれらの増強に加えて、下肢の浮腫。四肢の関節痛。発熱あり(39度)。立ち上がれなくなり、近医A受診するも、ほとんど診察なく投薬のみ。B病院を受診し、C大学病院を紹介。検査を行う(結果記載なし)。SLEの診断。ステロイドパルス施行。熱下がらず、各種検査を行い、ステロイドパルス再度施行。ステロイド内服投与などを続けた。2ヶ月で10kg体重減少。8/31退院。	
14	10代	2011/10/15, 12/17, 2012/5/12	サ	3 親	2回目後13日	2012/1/2関節痛、動かないとの訴え。3月まで3回通院するも異常なし。A病院リウマチ科からBクリニックに紹介。リウマチ否定され漢方薬処方。精査が十分でないと感じている。	
15	10代	2011/4/7, 5/14, 10/22	サ	3 親	2回目後13日	5/27極度の倦怠感。5/30耳鼻科で唾液のみの検査、異常なし。6/28膠原病を疑い、A病院内科受診。異常なし。8/1B脳外科でMRI異常なし。3回目の接種後から吐き気と眩暈。12/14C大学病院で異常なし。2012/1/26D大学病院、3/30Eクリニックで異常なし。4月声嚙れあり。2012年には下肢の脱力なし。7/17にはC大学病院で精神科受診を勧められている。	
16	10代	2011/9/14, 10/29, 2012/3/30	不明	3 親	不明	全身いろいろな箇所痛みや痺れの症状や頭痛・微熱。検査するも、多発性硬化症やリウマチ疾患を疑うものもの考えにくいとの医師の見解。	

17	10代	2011/9/17, 10/27, 2012/3/29	サ	3	親	不明	感情の起伏が激しくなった。被害妄想あり。偏頭痛の頻度が増している。もともと眠前に安定剤を内服していた。小児精神科の医師の診療と婦人科の診療を受けており、服薬治療も受けている。喘息の治療も平行して行っている。	
18	10代	2011/9/27, 10/30, 2012/3/28	サ	3	親	19日	接種後痛み、だるさ、患部の腫れが1-2週間続いた。 2012年4月16日に、学校内で突然足の力が抜け、倒れる。毎日倒れるようになった。すぐ治る日もあれば、2-3日続く日もある。4/27に立つことができなくなり、大学病院にて検査を受けるも異常なし。6/2校医の病院でナルコレプシーを疑われる。このころから脱力のほかに意識がなくなることがあったり、全身硬直したり、呼吸が乱れたりするようになった。一時期は手足のびくつきがあった。7/30別の大学病院で異常なし。10/20また別の大学病院の精神神経科を受診。睡眠障害、特発性過眠症と言われた。救急要請も何度もした。	○
19	10代	2010/8/9, 9/7, 2011年2月	サ	3	親	1年	2回接種後、下肢の随所に痛みあり。バレーボール部に属していた。整形外科を受診するが改善せず。3回目の接種(2011年2月)後は局所のしこりあり。毎日どこかしら痛む。2012年2月ごろに肘が痛くなり、練習を休んでも痛みが悪化するようになった。肘部管症候群の診断を受けた。リリカを処方され、痛みは軽快したが薬の副反応で意識障害、鼻血、強烈的な眠気などをきたすようになった。5/2に、ネットで探した医師に診察を受けると、肘部管症候群ではないと言われ、またリリカを禁じられた。5/4には左肘、左手にも痛みが生じるようになった。5/5、立ち上がろうと足を着くと飛び上がるくらい痛かった。それまで通っていた整形外科に行くも膠原病の疑いがあるとされ、紹介状を渡された。このときには右足関節痛がかなり悪化して歩行できなかった。複数の医療施設で検査を行ったが、膠原病ではなかった。いまだに診断がはっきりしていない。	
20	10代	2011/9/13, 10/14, 2012/3/23	サ	3	親	翌日	3/24(3回目接種の翌日)から手首、足首の痛みを生じる。痛みが移動し、局所が腫れている。4/16整形外科受診。4/26痛みで力が入れられない。足底、足首が腫れて靴が履けない。内科受診。4/30甲状腺機能低下症と診断。痛みがひどいため大学病院の膠原病専門医を紹介してもらう。5/2紹介受診。リウマチに症状酷似も血液検査異常なし。プレドニン処方。8/31関節痛ひどく、発熱。若年性特発性関節炎と診断。抗リウマチ薬、プレドニン、鎮痛剤服用中。	
21	10代	2011/8/7, 11/5, 2012/3/24	サ	3	親	不明	3回目の接種後、関節腫脹、運動時痛、微熱あり。A病院を受診するもリウマチは否定的とされ、B病院を紹介。CRP軽度上昇のほかは異常所見なし。ロキソニンで疼痛コントロール。同院の医師より予防接種の影響である可能性が高いと指摘される。	
22	20代	2011/8/4, 9/5, 2012/5/31	サ	3	親	3ヶ月	8月下旬(最終接種から3カ月)に高熱をきたし、なかなか解熱しなかった。白血球の上昇なし(いつ解熱したかの記載はない)。10月上旬に手のしびれ、足のだるさを感じていた。痛みが日に日にひどくなり、A整形外科を受診。頸椎ヘルニアの診断。処方薬を内服しても痛みが治まらず、B整形外科を受診。頸椎症とストレスと診断。リリカなどを処方されたが無効。4軒の病院を次々に受診。頭部、頸部にわたりMRIを計3回撮影したがすべて異常なし。C整形外科クリニックを受診するも画像検査で異常なし。レントゲンは計50回程度撮影。整体院にも3か所通院した。腕のしびれ、痛みが増強しており、頭痛も金槌でたたかれたような痛みであった。右半身の硬直があり、3/29 E病院で精密検査を実施。頭頸部のMRIを撮影、採血も行ったが異常なし。精神的なものを疑われた。	
23	10代	2011/2/19, 3/18, 8/20	不明	3	親	289日	【主訴】発熱、意識レベルの低下 【経過】生来健康。バレー部に所属。接種後は局所に痛みを訴えた。2012年6/4-8発熱。6/8夜に39℃台の高熱のため夜間診療を受診。その後A病院を受診。帰宅。6/9再び夜間診療受診。C病院を救急受診。以後6/21まで高熱が断続的に続き、B病院に入院。原因が判明し(ママ)6/22C病院受診。6/22-25通院するも発熱が治まらず、6/26-7/3入院。その後は定期的に通院している。発熱の再発ないが、2012年12月に帯状疱疹を発症。(全身性エリテマトーデスに言及あり、現在プレドニン・プレドニゾン、プロスターM、プラパスタン、アルファロール、シナール、ピドキサル、フラビタン内服中。プレドニンは奏功した印象で、現在6mgにまで漸減。)	
24	10代	不明	サ	不明	親	数日	1回目、すごく痛かった。2回目何となくいやな予感(母)。3回目直後、しばらく腕が痛かった。数日して、体の随所を痛がるようになった。5月から足裏の感覚異常。接種後3ヶ月で症状出現。眩暈、嘔吐、微熱。脱毛、頻脈、脱力感など。医院、2カ所の大学病院を受診し精査したが異常なし。遠隔地の医師にも相談。	

※サ/ガ…サーバリックス/ガーダシル